

軍事費の大幅増で「敵基地攻撃」を推進

岸田政権は、2022年度予算案に5兆3687億円の軍事費を計上。8年連続で過去最大を更新しました。

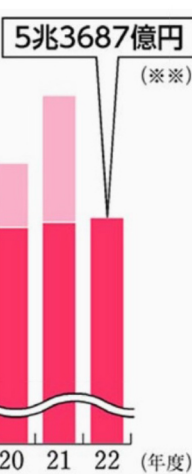
政府は、21年度補正予算

と22年度当初予算案を「パツケージ」と位置づけており、総額6兆1744億円に上ります。防衛省資料には「GDP

を排除せず検討する」（12月6日）と述べましたが、その具体化が始まっています。敵の射程圏外から攻撃でき

る「スタンド・オフ・ミサイル」は393億円で、これを搭載するF15戦闘機の改修費520億円も計上されています。

まさに「安心削り超軍拡」の予算です。



が確実」と明記。歴代政権が目安としてきた「GDP比1%」突破を当然視し、膨

張に歯止めがかからなくなっています。際立っているのが、憲法違反の「敵基地攻撃能力」保有につ

ながる計画です。岸田文雄首相は所信表明演説で「いわゆる敵基地攻撃能力も含め、あらゆる選択肢も」型護衛艦の改修に61億

円を充てて空母化を狙うなど、「敵基地攻撃能力」の既成事実化を積み重ねています。

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地の建設費に355億円を計上。「思いやり予算」は

歳出ベースで2056億円で前年度から39億円増。米軍奉仕も際立っています。

米軍オスプレイの館山基地緊急着陸などで日本共産党が防衛省に要請

12月24日、自衛隊オスプレイの運用と館山基地に緊急着陸した米軍オスプレイをめぐって、日本共産党が防衛省に訓練中止や情報公開など

を求めました。

米空軍横田基地のオスプレイが館山基地に緊急着陸したのは12月1日。館山市長も「夜間の市街地上空における飛行であったため、飛行ルート上では騒音が響き渡り、市民からの問い合わせや不安の声が寄せられて

いる」とコメントしています。この日の要請では「家が揺れ震度4くらいだった」

「ものすごい音もして、何事かと家から飛び出した。墜落するのではないかと思った」などの声を紹介されました。

また、自衛隊のオスプレイについて防衛省側が「住宅密

集地は極力飛ばないようにしている」と述べたのに対して参加者から、「習志野演習場や下総基地は住宅密集地にある。住宅地を飛ばないという

なら、こういう場所には来ないということか」と迫りましたが、「可能な範囲で回避する」との回答にとどまり、日常的に住宅密集地を飛ばす可能性を否定しませんでした。

参加者は、「6月に山形、9月に仙台、そして12月に館山と緊急着陸が頻発しており、危険きわまりない。こんな危ないものは、飛ばさないようにすべきだ」と強く求めました。

住宅街を大型車が通り抜け

船橋市小室町



小室町の住宅街で左折するための対向車線にはみ出す巨大なトレーラー。 小室町田中恭二氏撮影

船橋市小室町は千葉ニュータウンの一角で、閑静な住宅街です。しかし、すぐわきで国道16号線と464号線が立体交差しているため大型車の抜け道になっています。

その上、東隣の印西市に大規模な倉庫を初めとした流通産業が集積して、車両の通過台数は急増しています。中には、巨大なトレーラーが交差点を曲がりきれずに、対向車線に飛び出すような光景も珍しくありません。住民から「振動がひどい」「大きな車が近くを走ると怖い」などの不安の声が上がっています。

日本共産党小室支部では、こうした声を受けてアンケート調査などを開始。街の安全を確保するため、住民とともに取り組みを進める予定です。



海上自衛隊館山航空基地に緊急着陸した米軍のオスプレイ。 12月20日・南房総市住民撮影



三番瀬の遠浅の海に昇る初日。 11月1日・三番瀬

2022年1月1日。今年も三番瀬で初日を見る会が行われました。主催は「三番瀬を守る会」。県が、三番瀬を横切る第2湾岸道路に固執し、「新たな湾岸道路」の名称で、まずは市川市から千葉方面への建設に着手しようとしています。初日を見る会では三番瀬を未来に残すため建設中止の思いを一つにしました。